
N8190-163/164/165/166

Fibre Channel コントローラ

ファームウェア適用手順

Starter Pack Version S8.10-013.03 では Windows OS 以外の環境で N8190-163/164/165/166 Fibre Channel コントローラのファームウェア適用することができません。OS セットアップ完了後に本書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、ファームウェアのバージョンを確認してください。

N8190-163/164 のファームウェアバージョンが全て「14.4.473.14」でなかった場合、および N8190-165/166 のファームウェアバージョンが「02.04.09」でなかった場合は、本書の各 OS 用【適用手順】を参照して、各型番のファームウェアを適用してください。

ファームウェアの適用が完了したら再度本書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、N8190-163/164 のファームウェアバージョンが全て「14.4.473.14」、N8190-165/166 のファームウェアバージョンが全て「02.04.09」となっていることを確認してください。

【ファームウェアバージョン確認方法】

下記のいずれかの方法でファームウェアバージョンを確認することができます。

<システムユーティリティ(System Utilities)での確認方法>

- 1) POST で F9 を押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- 2) システム構成(System Configuration)を選択します。
- 3) 対象の Fibre Channel コントローラを選択します。
N 型番と「製品名」の対応は以下の通りです。
N8190-163/164: SN1200E
N8190-165/166: SN1100Q
- 4) アダプター情報を表示する(Display Adapter Info)を選択します。
- 5) ファームウェアバージョン(Firmware version)を確認します。

< iLO Web インターフェイスからの確認方法 >

- 1) マネージメント LAN 経由で接続し、iLO メニューを表示させ、「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択してください。
- 2) 「製品名」「ファームウェアバージョン」が表示されます。
対象となる製品の製品名とファームウェアバージョンを確認してください。
N 型番と「製品名」の対応は以下の通りです。
N8190-163/164: SN1200E
N8190-165/166: SN1100Q

【Linux OS適用手順】

- 1) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティから「TPM Visibility」を [Hidden]にします。システムユーティリティから設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。設定を変更したら、サーバーを再起動します。
- 2) サーバーにrootユーザーでログインします。
- 3) マウントポイントを作成します。作成済みの場合は、本操作は不要です。
mkdir /media/cdrom
- 4) Starter Pack S8.10-013.03をマウントします。
mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
- 5) ファームウェアモジュールが収録されたディレクトリに移動します。
 - ・N8190-163/164の場合
cd /media/cdrom/16g_fc/e/rhel
 - ・N8190-165/166の場合
cd /media/cdrom/16g_fc/q/rhel
- 6) 以下のコマンドを順番に実行します。
 - ・N8190-163/164の場合
rpm -Uvh firmware-fc-emulex-2025.03.01-1.16.x86_64.rpm
cd /usr/lib/x86_64-linux-gnu/firmware-fc-emulex-2025.03.01-1.16
./setup -f
 - ・N8190-165/166の場合
rpm -Uvh firmware-fc-qlogic-2025.03.01-1.6.x86_64.rpm
cd /usr/lib/x86_64-linux-gnu/firmware-fc-qlogic-2025.03.01-1.6
./setup -f
- 7) サーバーを再起動します。
reboot
- 8) 手順1)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバーを再起動します。

【ESXi8 用適用手順】

- (1) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティから「TPM Visibility」を[Hidden]にします。システムユーティリティから設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。
設定を変更したら、サーバーを再起動します。
- (2) Starter Pack S8.10-013.03 の下記フォルダに収録された ZIP 圧縮ファイル（CP063477.zip）を、VMware Host Client を起動する PC にコピーします。
 - ・N8190-163/164の場合
/16g_fc/e/esxi8
- (3) VMware Host Client を起動します。管理者権限のあるユーザーで ESXi に接続し、ESXi をメンテナンスモードに切り替えます。
※メンテナンスモードへの切り替えは、VMware Host Client で ESXi に接続し、[ナビゲータ]の中の[ホスト]を右クリックして、[メンテナンス モードへの切り替え]をクリックします。
- (4) [ナビゲータ] の中の [ストレージ] をクリックすると、データストアの一覧を表示します。ZIP 圧縮ファイルをアップロードするデータストアの上で右クリックし、[参照] をクリックします。
- (5) [アップロード]をクリックします。
- (6) 表示したアイテムのアップロード画面で ZIP 圧縮ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
- (7) アップロード/ダウンロード操作に関する警告ダイアログが表示された場合、[はい]をクリックします。
- (8) データストアブラウザにアップロードした ZIP 圧縮ファイルが表示されると、アップロードは完了です。
- (9) ダイレクトコンソールの画面で Troubleshooting Options を選択します。
ダイレクトコンソールまたは SSH による ESXi Shell へのアクセスを有効にし、管理者権限のあるユーザーで ESXi Shell にログインします(ダイレクトコンソール画面で ESXi shell にログインをする場合は[Alt] + [F1] キーを押します)。

(10) 以下のコマンドを実行し、ZIP 圧縮ファイルを解凍します。

```
# unzip [Path]CP063477.zip
```

※ [Path]は"/vmfs/volumes/datastore1/zip/"のように、ZIP 圧縮ファイルを格納したディレクトリを絶対パスで記述します。

(11) ZIP 圧縮ファイルを解凍して得られた CP063477_VMw.zip ファイルに対して以下のコマンドを実行し、実行権限を付与します。

```
# chmod +x [Path]CP063477_VMw.zip
```

※ [Path]は"/vmfs/volumes/datastore1/zip/"のように、ZIP 圧縮ファイルを解凍したディレクトリを絶対パスで記述します。(手順(10)の[Path]と同様です)

(12) 実行権限を付与した CP063477_VMw.zip ファイルに対して以下のコマンドを実行し、スマートコンポーネントをインストールします。

```
# esxcli software vib install -d [Path] CP063477_VMw.zip
```

※ [Path]は"/vmfs/volumes/datastore1/zip/"のように、ZIP 圧縮ファイルを解凍したディレクトリを絶対パスで記述します。(手順(10)の[Path]と同様です)

(13) 以下のコマンドを実行し、スマートコンポーネントがインストールされたディレクトリに移動します。

```
# cd /opt/Smart_Component/< CP063477>
```

(14) 以下のコマンドを実行し、ファームウェアを適用します。

```
# ./Execute_Component
```

(15) reboot コマンドを実行し、サーバーを再起動します。

※ 複数の対象となる型番の Fibre Channel コントローラをご使用の場合、上記手順を実行することで全ての対象となる型番の Fibre Channel コントローラに対してファームウェアが適用されます。

(16) 手順(1)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバーを再起動します。

(17) ダイレクトコンソールの画面で Troubleshooting Options を選択し、ESXi Shell のアクセス設定を元に戻します。
また VMware Host Client で ESXi に接続し、メンテナンスモードを解除します。

【ESX9 用適用手順】

- (1) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティから「TPM Visibility」を[Hidden]にします。システムユーティリティから設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。
設定を変更したら、サーバーを再起動します。
- (2) Starter Pack S8.10-013.03 の下記フォルダに収録された ZIP 圧縮ファイル（CP065894.zip）を、VMware Host Client を起動する PC にコピーします。
 - ・N8190-163/164の場合
/16g_fc/e/esxi9
- (3) VMware Host Client を起動します。管理者権限のあるユーザーで ESX に接続し、ESX をメンテナンスモードに切り替えます。
※メンテナンスモードへの切り替えは、VMware Host Client で ESX に接続し、[ナビゲータ]の中の[ホスト]を右クリックして、[メンテナンス モードへの切り替え]をクリックします。
- (4) [ナビゲータ] の中の [ストレージ] をクリックすると、データストアの一覧を表示します。ZIP 圧縮ファイルをアップロードするデータストアの上で右クリックし、[参照] をクリックします。
- (5) [アップロード]をクリックします。
- (6) 表示したアイテムのアップロード画面で ZIP 圧縮ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
- (7) アップロード/ダウンロード操作に関する警告ダイアログが表示された場合、[はい]をクリックします。
- (8) データストアブラウザにアップロードした ZIP 圧縮ファイルが表示されると、アップロードは完了です。
- (9) ダイレクトコンソールの画面で Troubleshooting Options を選択します。
ダイレクトコンソールまたは SSH による ESX Shell へのアクセスを有効にし、管理者権限のあるユーザーで ESX Shell にログインします(ダイレクトコンソール画面で ESX shell にログインをする場合は[Alt] + [F1] キーを押します)。
- (10) 以下のコマンドを実行し、ZIP 圧縮ファイルを解凍します。
 - # unzip [Path]CP065894.zip
 - ※ [Path]は"/vmfs/volumes/datastore1/zip/"のように、ZIP 圧縮ファイルを格納したディレクトリを絶対パスで記述します。

(11) ZIP 圧縮ファイルを解凍して得られた CP065894_VMw.zip ファイルに対して以下のコマンドを実行し、実行権限を付与します。

```
# chmod +x [Path]CP0658949_VMw.zip
```

※ [Path]は"/vmfs/volumes/datastore1/zip/"のように、ZIP 圧縮ファイルを解凍したディレクトリを絶対パスで記述します。(手順(10)の[Path]と同様です)

(12) 実行権限を付与した CP065894_VMw.zip ファイルに対して以下のコマンドを実行し、スマートコンポーネントをインストールします。

```
# esxcli software vib install -d [Path]CP065894_VMw.zip
```

※ [Path]は"/vmfs/volumes/datastore1/zip/"のように、ZIP 圧縮ファイルを解凍したディレクトリを絶対パスで記述します。(手順(10)の[Path]と同様です)

(13) 以下のコマンドを実行し、スマートコンポーネントがインストールされたディレクトリに移動します。

```
# cd /opt/Smart_Component/<CP065894>
```

(14) 以下のコマンドを実行し、ファームウェアを適用します。

```
# ./Execute_Component
```

(15) reboot コマンドを実行し、サーバーを再起動します。

※ 複数の対象となる型番の Fibre Channel コントローラをご使用の場合、上記手順を実行することで全ての対象となる型番の Fibre Channel コントローラに対してファームウェアが適用されます。

(17) 手順(1)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバーを再起動します。

(18) ダイレクトコンソールの画面で Troubleshooting Options を選択し、ESX Shell のアクセス設定を元に戻します。
また VMware Host Client で ESX に接続し、メンテナンスモードを解除します。